

団体名	一般社団法人長崎留学生支援センター						
事業名	長崎市民と長崎地域の大学等の新入留学生と日本人学生に対する 平和教育及びバスハイク						
実施期間	2021年12月11日(土)						
場 所	長崎平和公園・爆心地公園・長崎原爆資料館・長崎県庁協働スペース						
参加者数	外国人 留学生	その他 外国人	日本人 学生	地域住民	スタッフ 大学関係者	その他 (来場者等)	合計
	7		8	1	5		21名

<実施内容>

この取り組みによって「平和の尊さ」、「戦争の醜さ」、「核兵器の恐ろしさ」などを理解することができた。また、核兵器を持つ国から来た外国人留学生がこの行事を通して核保有について考える良い機会となっている。参加者からはこの体験を通して核兵器に対する認識が変わったという意見や「平和の尊さ」を再認識したという声が数多く寄せられた。

第1部 <原爆遺構巡り>

平和案内人とともに、長崎平和公園→爆心地公園→当時の地層見学→原爆資料館を見学しました。

<ランチ・ディスカッション>

アイスブレイキングを含めた食事しながらの自己紹介タイムは、ランチがより美味しく感じられた。

第2部<被爆体験講話>

被爆者の方から被爆時と被爆後の状況などを詳しく拝聴した。平和とは何か、一番大切なものとは何かを改めて考える良い機会になりました。

第3部<ワークショップ:平和とSDGs>

長崎大学の学生サークル「Peace Caravan隊」のファシリテートで、平和学習とは、核保有・核廃絶について、みんなで考え学びました。

<記録写真>



「平和案内人」から平和記念像の説明をして頂きました。



被爆体験談は「命の大切さ」を再認識する機会になりました。



ワークショップでは平和と核について考えました。

<参加者からのコメント>

外国人留学生(中国) / a student from China

今回のイベントを通じて、「核兵器の怖さ」と「人体への悪影響」を知りました。今、世界で核兵器を保有している国が数多くあるので、私たちが被爆者になる可能性があります。核兵器の禁止について、多くの問題を解決しなければならず、今までで最も多くの側面から考えることができました。核兵器廃止について、みんな協力を続けてがんばりましょう！

日本人学生 / a student, from Japan

小学校・中学校・高校での平和学習や講話での感想では、よく「改めて平和の大切さについて理解できた」というコメントを残していたけれども、自分が原爆についてこんなにも無知だったんだということが実感でき、貴重な体験になりました。これからもっと長崎だけでなく世界の平和について学び続けることが大切だと思いました。小さなグループでのディスカッションはとてもよかったです。聞くだけよりも身にしみて理解ができました。